

## 研 修 報 告

### 令和3年度市町村議会議員研修・第1回「防災と議員の役割」

日 時 令和3年4月22日・23日  
場 所 全国市町村国際文化研修所（JIAM）  
参加者 吉井 敏恭・東野 敏弘

#### 研修日程

①講義 「過去の災害教訓を活かした防災・減災」

名古屋大学減災連携研究センター 教授 福和 伸夫 氏  
国内外で発生した災禍について歴史的な視点で解説され、その教訓をもとに、今後の災害に備えて、議員として地域住民として、どのような対策や行動をとることが求められているかを講義される。

②講義 「平時の防災と議員の役割」

跡見学園女子大学観光コミュニティ学部コミュニティデザイン学科  
教授 鍵屋 一 氏  
災害への対応は平時から意識して取り組んでおくことが必要であることを力説される。

③演習 「平時の防災と議員の役割」

鍵屋 一 氏  
防災企業連合関西そなえ隊事務局 湯井 恵美子 氏  
講義を踏まえ、平時における議員の役割について、グループに分かれて意見交換を行いました。「岩手県大槌町の災害対応ー平野総務部長に聞くー」を読んで、ワールドカフェ方式（くつろいでいるような雰囲気での会議をすること）での話し合い。

④事例紹介「令和元年東日本台風災害の被災地長野での対応

～避難所の運営について～

長野市企画政策部復興局復興推進課 課長 小池 啓道 氏  
令和元年台風19号の被災地である長野市において、約2か月間避難所を運営した小池氏から、避難所の様子や住民との関わり、その中で得た教訓、現

在取り組んでいること、災害を通じて得たことなどを報告していただく。

⑤演習 「災害時、復旧・復興期の議員の役割」

鍵屋 一 氏・湯井 恵美子 氏

「東日本大震災での宮城県東松島市議会議員の行動」を読んで、ワールドカフェ方式で話し合いました。

⑥講義 「災害時および復旧・復興期における議員の役割」 鍵屋 一 氏

2日間のまとめとして、平常時、災害発生時、災害から復旧期、災害からの復興期のそれぞれの段階における議員・議会の果たすべき役割について、具体的に説明される。

## 「防災と議員の役割」の所感

東野 敏弘

「防災と議員の役割」を受講した中で、特に私が印象に残っていることを紹介します。

- ・ 地方議会の本来的な役割は、①監視機能、②政策立案機能であり、平時の議会質疑は、①施策の発生源（法律、計画、公約・・・）、②検討した他の施策案等の内容、③他自治体の類似施策との比較検討、④国の法制度、⑤総合計画や地域防災計画上の位置づけ、⑥施策の財源、将来負担などなど。
- ・ 災害時の議会議員の使命は、住民の命と尊厳を守ることであり、そのために、市町村当局と協働して、国・県、防災関係機関に働きかけることである。応急対策期の議会・議員に求められることは、活動ルール（議長への情報一元化）、活動の道具（情報・場所・機会）、積極的な情報提供（行政へ、市民へ）、積極的な地域活動を行うことである。行政と議会・議員は、平次とは異なり、一体となり、力を合わせて、同じ方向で応急対策期を乗り越える必要がある。
- ・ 災害時の議会・議員活動の考え方として、①応急対策期、議員は地域支援を行い、②復興時は議会審議を通じまちの未来形成を行う、③平時から議会・議員の政策形成能力の向上を図り、執行機関任せにしないことである。
- ・ 議員の行動指針として、①自らが被災しないように準備し、災害直後は安全の確保と人命第一。②地域での支援活動を行う。③情報の収集と地域への提供。④個別の要請は避け、地域情報は議会に集約する。⑤地域と議会・執行機関との橋渡しをする。

- ・地区防災計画づくりの重要性、①地域の災害リスク把握、②避難・安否確認の仕組み、③避難誘導の方法、④避難所の運営ルール、⑤自助の推進、⑥事前復興。

地区防災計画づくりは、自分は大丈夫という「正常化の偏見」の克服につながる。

- ・防災の正四面体とは、①自助（減災対策、家族情報、持ち出し品）②近助（従来からの共助・近所、福祉、消防団、自主防災会等、コミュニティ活動・防災訓練）③共助（ボランティア、NPO、企業）④公助（行政、病院、学校、広域連携）

また、今回の研修では、3名～4名のグループでの演習が取り入れられていました。ワールドカフェ方式で、メンバーの入れ替えもあり、多くの議員と意見交換ができ、中身も深められたように感じました。

今回の研修を受講した上で、「西脇市市議会大規模災害対応マニュアル」は、大変まとめられたマニュアルであると再認識した。議員の行動方針①地域の一員としての活動。②市当局の災害対応への協力。③情報収集。さらに、災害の初動時の対応、中期の対応、後期の対応と分け、具体的に記述されている。

今回の研修で得た災害対応を、今後の議員活動に活かしていきたい。

## 「防災と議員の役割」の所感

吉井 敏恭

平成30年7月豪雨において大雨特別警報が発令され、地元の集会所に一時避難所を開設し、35名の避難者を受け入れた。私は、防災・減災を考えると「充分の目安」とは、何なのか・・・との疑問を持ち続けている。この疑問の答えを求め受講を希望した。

500年に一度の大地動乱が歴史の転換点に重なることの解説があり、なるほどと着目に感心した。ユネスコ無形文化遺産に登録された男鹿のナマハゲでは、要配慮者情報（ナマハゲ台帳）を収集する先人の知恵を知った。

被災地長野での避難所の運営について、所長の小池啓道氏から体験談をお聞きした。「避難所運営に正解はない」「人を救うのは人しかいない」との言葉を肝に銘じた。

4人ごと各班（テーブル）に分かれ、ワールドカフェ方式を体験した。我がテーブルは、越市議会 桑真美子氏、本巢市議会 高橋勇樹氏、多気町議会 田牧

正義氏の4名。まずは演習資料の「岩手県大槌町の災害対応（現町長に聞く）」、「東日本大震災での宮城県東松島市議会議員の行動」を読み、感じたことをポストイットに書き出し、4人で対話を楽しんだ。年齢差、地域差による演習資料の受け止めは異なるが、テーブルとしてのアイデアを纏めることができた。

知りたかった「充分の目安」の答えは、未だ見出せませんが、非常時に本当に機能するのかと、疑問視していた「地域防災計画」は、みんなで考える時間を共有することに意義があると結論しました。また切迫する巨大地震、感染症、強大化する風水害に対する議員の役割は「平常時の議会開会中に防災に関する質疑を行うこと」であり、平常時に考え、非常時に備えることが大切であることを学びました。平時から危機管理を忘れず議員活動に活かしていきたい。

最後に2017年「防災と議員の役割」研修アンケート（総数＝70名）の結果と気に入った言葉を書き出します。

◎災害 「議員」がすべきこと

- |    |                |    |            |
|----|----------------|----|------------|
| 1位 | 情報収集・提供（68）    | 2位 | 地域支援活動（68） |
| 3位 | 国等関係機関への要望（50） | 4位 | 視察の受入（35）  |

◎災害 「議員」がしてはならないこと

- |    |             |    |               |
|----|-------------|----|---------------|
| 1位 | 行政職員を威嚇（68） | 2位 | 支援者への利益誘導（63） |
| 3位 | 行政批判（62）    | 4位 | 他議員の活動批判（55）  |

◎応急対策期の議員心得

行政と議会・議員は、平時と異なり、一体となり、力を合わせて、同じ方向性で応急対策期を乗り越える。

◎三不忘（易経では、古来より国家にとって忘れてはならない要諦が三つあり三不忘という。）

- 1、治まりて乱を忘れず。
- 2、安くして危を忘れず。
- 3、存して亡を忘れず。